

イシガメのアカミミガメに対する求愛行動について

中峰 早織¹・澤邊 久美子²・谷口 真理³

¹ 669-1313 三田市福島1091-2 三田市有馬富士自然学習センター

² 525-0001 滋賀県草津市下物町1091番 滋賀県立琵琶湖博物館

³ 654-0049 神戸市須磨区若宮町1-3-5 神戸市立須磨海浜水族園

Courtship behavior of male Japanese Pond turtle(*Muremys japonica*) to female Red eared slider turtle(*Trachemys scripta elegans*)

By Saori NAKAMINE¹, Kumiko SAWANABE² and Mari TANIGUCHI³

¹ Arima Fuji Nature Study Center in Sanda city, 1091-2, Fukushima, Sanda, Hyogo, 669-1313, Japan

² Lake Biwa Museum, 1091, Oroshimo, Kusastu-city, Shiga, 525-0001, Japan

³ Kobe-Suma aquarium, 1-3-5, Wakamiya, Suma, Kobe, 654-0049, Japan

兵庫県にある三田市有馬富士自然学習センター内の水族展示水槽内で、雄のニホンイシガメ(以下、イシガメ)が雌のミシシippアカミミガメ(以下、アカミミガメ)に対して求愛するところを観察したので、ここに報告する。当センターでは2010年7月より、屋内水槽(約2.5m×1.2m、水深65cm)で淡水カメ類の展示を行っている。展示していたカメは、イシガメ1匹、クサガメ4匹であった。イシガメは雄で甲長約10cm、クサガメの内3匹は雄で甲長約10cm、残り1匹は甲長約20cmの雌である。

アカミミガメは2011年6月7日に三田市を流れる武庫川で捕獲された個体で、甲長は24cmの雌である。このアカミミガメを同センターの水槽に収容する時に、元からいたイシガメの雄が新たに入れた雌のアカミミガメに対して求愛行動を起こした。雄のイシガメが雌のアカミミガメを追い掛け回す行動(図1)や、また、雄が前肢を雌の頭の前で動かす行動が観察され(図2)、時には雄が雌に噛み付くような行動もみられた。数日、このような行動を雄のイシガメは雌のアカミミガメに繰り返した。このような行動は、矢部(1999)が報告しているイシガメの雌に対する求愛行動と一致している。このようにイシガメの雄がアカミミガメの雌に求愛行動を示すことは、イシガメの雄が雌の種を認知する能力が高くないことを示している。カメでは異種間の雑種ができることがいくつか報告されているが、生殖隔離の第一段階であると考えられる種の認知が、日本産のイシガメと北米産のアカミミガメの間でさえも行われていないことは注目し得る。なお、アカミミガメの雌がイシガメの雄を認知していたか否かは、今回はわからなかった。



図1. 雌のアカミミガメを追い掛け回す雄のイシガメ



図2. 雌のアカミミガメに求愛をする雄のイシガメ

引用文献

矢部 隆. 1999. 謎に満ちた淡水棲カメの配偶行動. 遺伝53(7): 92-94